

岡山県立岡山朝日高校

高い志 ～限界の先へ～

取組等の概要



JAXA（はやぶさの研究開発等）訪問



東京大学研究室（10コース）訪問



イギリス研修

1 東京大学・医学部など最難関大学への進学実績と社会性を涵養する取組

- ①「高い志」をキーワードに、ハイレベルな教師陣による組織的で丁寧な指導
 - ・限界に挑戦し、「入れる大学」ではなく「入るべき大学」への挑戦
- ②「大学の向こう側の社会」を意識した、深い学びへと誘う活動
 - ・トップリーダーとして活躍する卒業生から学ぶ各種講座、先輩方の案内によるJAXA・東京大学の体験研修など、本物に触れ、本質を探究する機会を提供
- ③「文武両道」の実践と充実した学校行事
 - ・県内最多を誇る部・同好会数（運動部16・文化部21・同好会5）
 - ・全校生徒が燃える朝日祭や60年を超える伝統を持つ富士登山

2 新たな社会を牽引し世界の未来を拓く人材の育成

- ①イギリス研修・理科系重点校との姉妹校締結
 - ・姉妹校（モンクス・ウオークハイスクール）で体験する共同プレゼンテーション
 - ・ケンブリッジ大学で行われるサイエンスフェスティバルへの参加
- ②世界への挑戦 ～全国大会から国際大会へ～
 - ・国際物理オリンピックで、日本唯一・県内初の金メダル獲得
数学・物理・化学・生物等の国内大会、サイエンスチャレンジ等への積極的参加。興味関心の高まりにより才能が開花。
 - ・日本代表（全国で9名）として最新の科学を学ぶシドニー大学の国際科学学校へ
 - ・ダンス部の国際大会（ミスダンスドリル in USA）で総合第2位の活躍

岡山県立岡山操山高校

S G H 集大成からその先へ ～Sacred Heart Collegeとの交流～

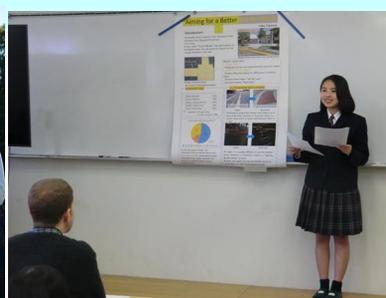
取組等の概要



Sacred Heart Collegeとの
調印式



後樂園を案内



海外研修前プレゼン練習

県立岡山操山高校では、「和して流れず」「松柏の精神」で、次代を担う高い志を持ち、岡山と日本の未来を切り拓く、将来のグローバルリーダーの育成を目指しています。

平成27年には、文部科学省からスーパーグローバルハイスクール（SGH）に指定され、創立120周年を迎える今年度が、集大成の年となります。SGHの研究開発単位の一つとしてSOZAN国際塾(現在約40名入塾)があり、「持続可能な開発目標(SDGs)」における17の目標に基づいて、課題研究を行っています。それぞれのテーマを設定し研究していくためには、海外でのフィールドワークや現地高校生、大学生等との交流を通じて、国際的教養を身につけるとともに、より幅広い視野を持って異文化を理解する姿勢が必要となります。

そこで数年前から交流している南オーストラリア州アデレード市にあるSacred Heart College(SHC)と、今年5月に正式に姉妹校縁組を結びました。

昨年9月にはSHCの生徒が来校し、一緒に授業を受けたり、後樂園を案内したりしました。また今年3月に、本校生徒12名がSHCを訪問した際には、事前に本校の外国人の先生とプレゼンの練習を積み重ね、現地で課題研究について英語で発表しました。これからも志を高く持ち、互いに密な関係を築く中で、真のグローバル人材として活躍するために研鑽を積んでいきます。

岡山県立岡山芳泉高校

デジタル×パフォーマンス＝ 芳泉高校芸術科合同発表会

取組等の概要



作曲の様子（音楽）



映像編集の様子（美術）



パフォーマンスの練習（書道）

○概要

本校の芸術科の授業では、生涯を通して芸術を愛好する心情を高めるための取り組みとして、音楽ではボーカロイドを使った作曲活動、美術ではMacを使ったデジタル表現、書道では書道パフォーマンスを授業内で行います。各科目での取り組みの集大成として、それぞれの表現を融合した「芸術科合同発表会」を開催しています。

○取り組みの手順

準備・・・共通テーマをもとに、音楽選択者は音楽を作曲、美術選択者は映像制作、書道選択者は文章を考えパフォーマンスの練習を行う。

発表会当日・・・美術選択者が制作した映像を大きな紙に映す。
書道選択者が映像を背景に紙面でパフォーマンスを行う。
音楽選択者の作曲した音楽をBGMとして流す。
グループごとの発表を互いに鑑賞しあう。

○取り組みの目標

共通テーマをもとに、各科目・各グループが制作したものをかけ合わせたり鑑賞しあったりすることで、互いの良さについて語り合い、芸術の多様な表現の可能性について体感する。

岡山県立岡山一宮高校

SSH
Super Science Highschool

スーパーサイエンスハイスクール ユネスコスクール



一高で育つ探究心

～全校で取り組む課題研究～

取組等の概要



○取組の目標

岡山一宮高校は、今年度から第4期SSH（5年間）に指定されました。「探究の一宮」を目標に掲げ、将来、サイエンス・グローバル・社会貢献の視点を持って大学や社会で活躍できる人材を育成します。

○取組の特徴

- 1 企業・研究機関との連携による深い学び
- 2 本物にふれる経験（東大・京大・岡山大での指導）
- 3 垣根（学年・文理・学校）を越えた協働的な探究

○取組の概要

課題研究は、大学教授等の指導や3年生の助言を受けて進めます。グループ研究を基本とし、3年では個人での継続研究もできます。

普通科（2年）… 教科の学びを社会的課題の解決につなげる

- ・ 広くSDGsに関わる課題を設定し、文理を統合して探究する。
- ・ ポスター作成・発表の技能を身につける。

理数科（2年）… 先端研究に触れ、専門性を高める

- ・ 設定した課題に対して仮説検証を行い探究活動を行う。
- ・ プレゼンテーション、科学論文作成の技能を身につける。

岡山県立岡山城東高校

「ステージは世界だ！」

～グローバルリーダーを育てるオンリーワンの教育を展開しています～

取組等の概要



マレーシア
(独立広場にて)



韓国（慶南外国語高校）
との交流



1年 企業訪問（中国銀行）

「ステージは世界だ！」岡山発グローバルリーダーの育成という取組みの中で、グローバルな視点を持ちながら地域に根差し地域社会を支える人材、郷土や日本への貢献意識を持ちながら、国際社会で活躍する人材の育成をめざし、地域と協働を図りながら、様々な国際交流プログラムを展開しています。県内の企業訪問や地域の問題についての課題研究を進める一方、希望すればすべての生徒が1年次、2年次で海外体験の研修に参加することができます。また、海外交流校の来校や長期留学生の受け入れなどにより、海外の高校生と一緒に学校生活を送ったり、ホームステイに協力したりすることで、日本にいながらにして異文化体験をすることができます。

○企業訪問

・1年次生全員、県内のいずれかの企業を訪問し、地域の企業の取組や工夫、課題等をSDGsの視点から学びます。

○海外文化体験研修

- ・参加者及び期間 1年次生希望者 15日間
- ・国（地域） カナダ（バンクーバー）、オーストラリア（ブリスベン）
- ・活動内容 ホームステイ、少人数英語クラスでの研修や大学、高等学校訪問等

○学類研修（修学旅行にあたる行事）

- ・参加者及び研修地（令和元年度実績）
2年次生 国際教養学類の全員（韓国）、音楽学類の全員（台湾）
人文社会学類・理数学類の選択者（マレーシア）
- ・活動内容 現地高校との交流、現地大学生との自主研修、博物館等市内視察等

○海外高等学校との交流

- ・姉妹校 慶南外国語高等学校（韓国）、金海外国語高等学校（韓国）
- ・受け入れ 9月、10月に来岡、ホームステイ、授業参加、交流会
- ・訪問 6月学類研修で国際教養学類が訪問、高校の寮に宿泊、授業参加等
- ・その他 スカイプによる交流

○留 学

- ・受け入れ ドイツ人男子生徒（平成30年9月～令和元年6月）ドイツ人女子学生（令和元年9月～）
- ・長期留学 3年次生徒がニュージーランドの高校へ留学（平成31年3月～令和2年1月）

○自主的な社会貢献活動

- ・地域のボランティア活動を積極的に紹介し、生徒が自主的に申込み、参加しています。

岡山県立西大寺高校

充実した**海外短期研修** 毎年100名を超える生徒が異文化体験！

取組等の概要



現地高校生との記念撮影



現地小学生との交流会



ティーブレイク

本校では、創立108年目にあたる平成25年度から実施している"GLOPS-108" (Globalization Oriented Program Saidaiji 108)の取組をとおして、コミュニケーション能力・語学力の育成、異文化理解を進めています。

異文化理解を体験的に深める取組の一つとして、希望者に3月に海外での短期研修を実施しています。今年度は令和2年3月5日～3月18日の14日間、オーストラリア・ブリスベンで実施を計画しており、114名の生徒が参加する予定です。

国際情報科の生徒に加えて、商業科・普通科からの参加も多く、毎年100名を超えており、岡山県内の県立高校では海外短期研修の参加者が多い学校の一つです。

参加した生徒は、ブリスベン近郊のホスト宅にホームステイしながら、平日は現地の4つの高校に分かれて語学研修や現地校体験、交流授業を、週末にはホストファミリーとの交流をとおして、コミュニケーション能力の向上を図るとともに異文化理解を深めています。

40万円程度の経費が必要ですが、「岡山の高校生留学支援事業」等の制度を活用して負担軽減を図ることもできます。

参加した生徒は、自分の意思を明確に示すことの大切さなどを学び、日常会話を含む英語への学習意欲が向上するなど多くの成長が見られ、本校の進めるグローバル教育を担う重要な取組となっています。

岡山県立瀬戸高校

地域課題から世界課題へSDGsで考える 最先端のキャリア教育

「セト☆ラボ」「S☆ラボ」「D☆ラボ」

取組等の概要



海を救うため、プラゴミについて考えました。
文部科学省の先生にも発表を見ていただきました。



食品ロスを考える。
地元のパン屋さんでコラボしました。



赤磐市長・岡山市長・真庭市長と商談！

○取組の目標

社会に開かれた教育課程で、グローバルな視点を持ち、地域社会に貢献する生徒、卒業後も向上心を持って学び続ける生徒を育成しています。

○取組の特徴

- 1 地域振興関係者や地元産業界の方と連携
- 2 岡山大学(SDGs)と連携
- 3 瀬戸高で付けたい6つの力の推進

○取組の概要

- ・課題研究「セト☆ラボ」(1年)・・・地域課題を知り探究する
講演会、地域振興関係者や地元の産業界の方を囲む会【①受けとる力:聴く・メモをする】
フィールドワーク【②つながる力:仲間とつながる・地域とつながる】
セト☆ラボセッション【③伝える力:言葉で伝える・プレゼンする】
- ・課題研究「S☆ラボ」(2年)・・・地域課題から世界課題へSDGsで考える
岡山大学SDGs講演会【④見つける力:新たな価値を見つける】
企業の方とのSDGsセッション【④見つける力:課題を見つける】
S☆ラボセッション【⑤考える力⑥より良くなろうとする力:問題を解決する】
- ・課題研究「D☆ラボ」(3年)・・・「学びの設計書」をつくる
志望理由書の書き方【④つながる力:大学とつながる】
受験校アドミッションポリシー調べ【④見つける力:進路を見つける】
エッセイ(学びの教科書)【⑤考える力⑥より良くなろうとする力:学ぶ意欲】

岡山県立高松農業高校

高農の自慢は 「地域開放型くすのきマルシェ」だ！

取組等の概要



くすのきマルシェ広告



季節の農産物と販売の様子



農産加工品

高松農業高校では、学習内容を発表する機会の場合として、また地域の方々にも高農産の農作物や加工品を販売する機会の場合として、1学期～2学期の毎週水曜日に「くすのきマルシェ」を開催しています。

「くすのきマルシェ」では、学科ごとの特色を活かした季節の農産物や農産加工品を販売し、接客や会計なども生徒中心で運営しています。定期的な販売の機会には、地域の方はもちろん、生徒、先生方に大変喜ばれています。

品質の良い農産物・農産加工品を提供するために、これからも日々の学習活動を頑張っていきます！

岡山県立興陽高校

初めてだらけの ファッションショー

取組等の概要



① 初めてのミシン
～先輩に教えてもらって～



② 作品の製作
～試行錯誤しながら～



③ ショー本番
～最高の笑顔で～

○取組の目標

自分で「デザイン・製図・縫製」をして製作した衣装を地域の皆さま、保護者、友人などに見ていただき評価を得ることで、成果の確認をします。

○取組の特徴

自分で考えたことが、目の前で形になっていく「目に見える達成感」を味わうことができます。「初めてだらけ」の中で、得られるものは、その人の「生きる力」へとつながります。

○取組の概要

被服デザイン科では、入学してから少しずつ、しかし確実に「縫う」ことの基礎を学習していきます（写真①）。そして、2年間衣服を作ることを学び、その集大成として、ファッションショーに取り組みます（写真③）。

衣装は、自分でデザイン・製図・縫製（写真②）・モデルをし、ショーの構成・音楽・動きもすべて自分たちで考えます。どの活動も簡単に進められるわけではなく、試行錯誤を繰り返しながら、少しずつ形にしていきます。

これらの活動を通して、得るものは計り知れず、一生の財産となります。ショーが成功したか否かよりも、ショーをする過程で得られた「力」を糧に、被服デザイン科卒業生として、活躍してほしいと願っています。

岡山県立瀬戸南高校

地域密着！ シクラメン祭&生デフェス

取組等の概要

本校には、地域密着のお祭りが2つあります。1つは、今年で48年目を迎える「シクラメン祭（まつり）」です。生徒が学校で生産しているシクラメンや野菜などの農産物や、それを原料にして製造した加工品を販売している生物生産科と園芸科学科のイベントです。4年前から瀬戸町江尻の「レストパーク」で開催しており、広い会場で駐車場のストレスがなくなったと地域の方からも大好評です。



もう1つは「生デ（せいで）フェス」です。こちらは生活デザイン科の生徒が、日頃学習している内容を地域に向けて発表するイベントで、今年で4年目になります。生徒手作りで大好評の「瀬戸南おこわ」や「シフォンケーキ」の販売、リラクゼーションの体験コーナー、保育類型のステージ発表、福祉類型の手話、そして目玉のファッションショーなど、盛り沢山です。



どちらもオープンスクール的な要素があり、多くの中学生が来てくれます。今年のシクラメン祭は11月16日(土)、生デフェスは11月30日(土)です。

岡山県立岡山工業高校

「グローバル化に対応した工業高校」

を実現するOKAKO!

～カンボジア姉妹校との交流、令和初年度に本格スタート～

取組等の概要



校内で姉妹校とビデオ通話



カンボジア姉妹校訪問研修



台湾からの訪問団

○取組の目標

外国語や異文化に前向きな態度を形成し、労働者・指導者として海外での工業に関わる日本人の役割についての考えを深め、グローバルマインドを養います。

○取組の特徴・概要

- 1 ビデオ通話を使って姉妹校の生徒とリアルタイムで交流することで、コミュニケーション能力・異文化理解力を高めます。
- 2 平成30年1月にカンボジアの工業高校2校と姉妹校縁組を締結
同年7月にはカンボジア教育省幹部職員5名と姉妹校校長2名が来校
平成31年1月に姉妹校とのビデオ通話による交流開始
同年3月に本校生徒代表と教職員がカンボジア姉妹校訪問研修に参加
- 3 海外からの訪問団（マレーシア、台湾など）を積極的に受け入れ、授業や部活動を見学していただきながら、生徒が海外の方々と交流できる場を増やしています。

○今後の取組・計画

定期的なビデオ通話と年1回の現地訪問を基本的な交流手段としながら、互いの専門的な工業技術を学び合います。また、姉妹校との友好交流から、SDGsの視点を取り入れた日本の工業高校としての社会貢献の在り方を具体的に追求する教育活動へと発展させていく予定です。

岡山県立東岡山工業高校

ものづくり教室 in English

取組等の概要

【目的】専門高校として、知識と技術を活かす「英語でものづくり教室」

語学力 コミュニケーション能力 チャレンジ精神 異文化理解

将来様々な分野で活躍するグローバル人材の育成を目指す。



▶平成29年度：11月27日
「ぶるぶるモーターであそぼう」
岡山市立幡多小学校で実施

▶平成30年度：11月20、28日
「モーターを使った車のおもちゃを製作」
岡山市立竜之口、幡多小学校で実施

▶令和元年度：11月
岡山市立竜之口、幡多小学校で実施予定

▶平成30年度：10月26日
「モーターを使った車のおもちゃを製作」
岡山大学の留学生と交流

▶令和元年度：7月16日
国際交流員による
「国際理解講座」
令和元年度：10月26日
岡山大学の留学生と交流
を実施予定

【メンバー】

・専門5科：**機械科** **電気科** **電子機械科** **工業化学科** **設備システム科**

課題研究班メンバー

・公募に応じた生徒（参加者数）：平成29年度：15名 平成30年度：35名
令和元年度：60名

岡山県立岡山東商業高校

表町商店街 ～アメージングストリートへの歩み～

取組等の概要

私たちは、過去の先輩方が行ってきた地域や地元企業と連携した取組を振り返り、現在は表町商店街の活性化プロジェクトに取り組んでいます。

【調査仮説】
現在若者世代に多く使用されている
SNSを利用した販売促進
↓
若者が表町商店街に対して**興味・関心**を持つ
↓
SNSによる**拡散**
↓
「表町商店街」というキーワードが全国へ広まる
↓
若者客の増加・観光客の増加が見込めるのではないかと



調査



分析

①仮説



企画書の説明



企画書概要

②企画

店舗の方からいただいた意見

【肯定的な意見】

- ・高校生が商店街に対して興味を持ってくるととても嬉しい。
- ・ぜひ協力をしていきたい。
- ・高校生として良い活動を行っていますね。ありがとう。

【否定的な意見】

- ・企画書が無いので、具体的なことがまるで分からない。
- ・上の者に確認を取らないと分からないが、ダメだと思うよ。

③実践 I



SNS割引に対する企画説明を各店舗で行い、了承を得たうえで詳細の打ち合わせを行う

④実践 II



#表町プロジェクト
SNSサービス
ROMAN
チーズケーキ引換券
2019年12～2019年3/30まで有効
※店舗側の都合により利用できない場合があります 岡山県商業連合会 協賛

割引券の考案



【桃太郎商店】のデニムラーメン
既存商品の販売促進



インスタ映える
新商品の開発

今後は調査を行い仮説の通りになったか検証をします。店舗にも地域にも有益な企画として提案するとともに、継続的に課題解決に努めたいです。高校生パワーで表町商店街を盛り上げます。

岡山県立岡山南高校

地域の魅力を商品で発信

商業学科の挑戦★岡山が誇る「モノ・コト・ヒト」をビジネスに！

取組等の概要



特産品を活用した商品



商談にも挑戦



開発商品を販売

岡山南高校商業学科（商業・国際経済・情報処理科）では、ビジネスに関する専門学習の集大成として、岡山の魅力を反映させた商品を販売しています。毎年、県内の「モノ・コト・ヒト」から、次のようなテーマを決めて研究実践活動を展開しています。

- 2012 黄二ラ×はせい商店「黄二ラの天ぷら」
- 2013 岡山パクチー×みさお牧場「おかやま愛ス」
- 2014 新庄村ヒメノモチ×パティスリーサンドリヨン「ひめらてラスク」
- 2015 岡山四季の旬野菜×はせい商店「おかやま野菜畑」
- 2016 新見紅茶×パティスリーサンドリヨン「南紅菓（みなみこうか）」
- 2017 食用い草×山本製菓「極豊（ごくじょう）おかき」
- 2018 久世天然醸造味噌×河野酢味噌製造工場「焼肉の糨たれ」
- 2019 岡山名物9品目×三好野本店「（駅弁）岡山名物大集合」

生徒は、「ビジネス基礎」「簿記会計」「マーケティング」「情報処理」など、1年次よりビジネス科目群で身につけた知識と技術を生かして、企画立案から商談、販売までを行います。あらゆるビジネスを体験的に学ぶことで、地域への愛着や、ビジネスに必要なコミュニケーション力が育まれます。

人口減少や少子高齢化など、地方は様々な課題を抱えています。諸問題を解決するためには、そこに住む人々が「地域愛」を持って行動することが必要です。また、きれいごとではなく、それらがビジネスとして成立していくことも大切。岡山南高校商業学科では、これからの地域に必要な即戦力としての「視野」「行動力」を生徒が身につけて社会へ飛び立てるよう、様々な取組を行っています。

岡山県立岡山御津高校

「ルネス学」で地域に貢献！

「岡山御津高生×地域が贈るルネストラン」
山陽学園大学主催 地域マネジメントコンテスト銀賞受賞

取組等の概要



ルネス学授業風景



認知症サポーター養成講座



ルネストラン風景

1. 御津キャンパス学

「社会貢献活動」等、地域社会と協働・連携して行う5つの本校教育活動の総称を「御津キャンパス学」と呼んでいます。御津地域を学びの場であるキャンパスとして捉え、地域と共に歩む学習を展開しています。

2. ルネス学（地域課題発見解決学習）

昨年度から2・3年次生を対象に「総合的な学習の時間」を活用し、「御津キャンパス学」の一つとして取り組んでいる探究学習です。学校周辺を基本フィールドとして、地域社会の抱える様々な課題の発見と、その解決策を探究し提言していきます。生徒に身につけてもらいたい資質・能力と今年度の具体的な活動は次のとおりです。

○生徒に身につけてもらいたい資質・能力（社会に必要な4つの資質・能力）

確かな学力

- ・主体的に学ぶ力
- ・基礎的な学力
- ・深くバランスのよい学力

ヒューマンスキル

- ・他者と協働する力
- ・思いやりの心
- ・傾聴力
- ・コミュニケーション能力

健全なマインド

- ・自己肯定感
- ・自己有用感
- ・スケジュール管理能力
- ・自律心

編集力

- ・議論する力
- ・参画する力
- ・考える力
- ・提案する力

○「岡山御津高生×地域が贈るルネストラン」

今年度、最寄りの金川病院と連携して活動しています。話題となっている注文を間違えるレストラン「岡山御津高生×地域が贈るルネストラン」～高齢者を支える～を企画し開催しました。今後、さらに研究を深めていく予定です。

ルネス学計画

- 4月 認知症についての学習及び映画視聴
- 5月 注文を間違えるレストランイベント提案
認知症サポーター養成講座研修
- 6月 イベントに向けた準備
- 7月 7/21 イベント開催
- 9月以降 検証及び考察と提言

岡山県立倉敷青陵高校

高質な学力の養成

Only One in Seiryō 土曜 FW講座 ～生徒の知的好奇心を育む取組～

取組等の概要



～大学入学共通テストへ向けて～
「英語外部検定対策」講座



～賢人の考えを学ぼう～
教養講座「近現代思想」



「味噌づくりを通して微生物のはたらきを知る」生物講座

倉敷青陵高校では、授業とは別に「土曜FW講座」を実施しています。これは、基礎的な教科に関する質問講座から、外部講師を招いての教養講座まで幅広く設定されています。進路の自己実現を目指すだけでなく、将来の進路選択の指針となる「教養」を育てるものとなっています。



～研究の面白さを体感～
「自動運転車に人間中心設計は必要か？」



～定期考査対策～
「お助け漢文」講座



～人前で話す苦手意識を克服～
プレゼンテーション研修



～難関大学合格へ向けて～
難関大入試対策セミナー

岡山県立倉敷天城高校

スーパーサイエンスハイスクールの取り組み - 米国のNASAや国内の各種大会で思う存分に力を発揮!!! -

取組等の概要

倉敷天城高校では、平成17年度に文部科学省からスーパーサイエンスハイスクール（SSH）の研究指定を受け、今年で15年目になります。将来、国際的に活躍できる科学技術系人材を育てることに力を入れており、国内や海外での発表の機会も多く、とても高い評価をいただいています。

皆さんも、倉敷天城高校でアクティブな高校生活を一緒にエンジョイしてみませんか？

【写真1】理数科高等学校
課題研究発表大会



【写真2】第15回日本物
理学会Jr.セッション



【写真3】米国海外研修
NASA JPL



【写真1】

第21回 中国・四国・九州地区理数科高等学校課題研究発表大会において、「ステージ発表優秀賞」をいただきました。

【写真2】

本校での課題研究は、次のテーマのように、身の回りの身近な現象を深く追求する研究が多くあります。九州大学で開催された2019年度の物理学会のJr.セッションでは、全国最多の4本の研究が入賞しました（併設中学校を含む）。

- 熱音響エンジンの性能向上の研究～鳴釜神事をモデル化する～ 【審査員特別賞】
- 3段すっ飛びボールの上段球をより高く跳ね上がらせる 【奨励賞】
- 内部構造に着目したゴムの伸長変形における力学挙動 【奨励賞】
- タンブラーの側面で踊りだす水の謎 -ガクット現象の発見- 【優秀賞】

【写真3】

NASAのJPL（ジェット推進研究所）で、火星探査で有名なエンジニア本人から、惑星探査機器のテストについて、ユーモアあふれる説明を受けました。

岡山県立倉敷南高校

キーワードは“多様性” ～インクルーシブ社会(共生社会)の担い手を育む～

取組等の概要



ニュージーランド
水球チームとの交流会



英語ディベート全国大会出場



カンボジア研修
(タカタハルユキスクールにて)

○取組の目標

世界や地域に目を向け、主体的に学び、問題解決にチャレンジしていく若者を育てます。

○取組の特徴

Minami-PROJECTS～2nd Stage～ 未来活躍力の育成

授業を基本とし、国際交流、インクルーシブ教育、地域交流、文武両道の5つの視点を意識した取り組みを行っています。5つの視点を総合して学ぶ力や学びに向かう力を身につけ、希望する進路実現を目指しています。

○取組の概要

倉敷南高校は、昨年度ニュージーランドのカシミア高校と姉妹校縁組みを結びました。シンガポール修学旅行も年々参加人数が増え、4回目を迎えるカンボジア研修にも積極的に取り組んでいます。昨年度は全国高校生英語ディベート大会にも出場しました。国際化する社会に貢献・活躍できる力がつけられる環境が整っています。さらに、近くの特別支援学校との交流も始まり、共生社会の担い手としての自覚を育む教育に取り組んでいます。

岡山県立倉敷古城池高校

ワッショイ! とーかーず

◆◆◆水島地域に活気を!!◆◆◆

取組等の概要



コンビナートクルーズ
海から見える企業をアナウンス



聞き書き
地域の先輩のお話を記録する



こども食堂
「団らん」を大切にしています

■プロフィール

「ワッショイ! とーかーず」とは、自分たちを育ててくれている水島地域を盛り上げる活動を地域のいろいろな団体と連携しながら行っているグループです。

地域を盛り上げる「ワッショイ!」という言葉と、本校のシンボル藤花(とうか)と「話す人(Talker)」をかけた言葉の複数形「とーかーず」を合わせて命名しました。

■コンビナートクルーズ

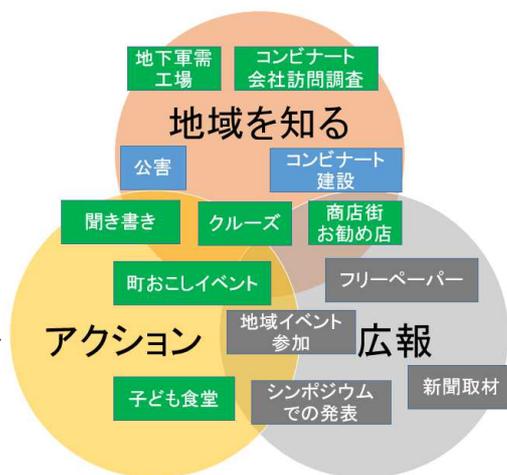
水島コンビナートに立地する代表的企業を訪問し、企業概要や生産品などのインタビューを基に、水島港の船上からコンビナートを見学する「水島港クルーズ」で古城池生が案内役となって説明しています。

■聞き書き

地域で暮らす人生の先輩にその人が歩んできた道のりを語っていただき、それを話し言葉だけで文章にして記録する「聞き書き」の活動を行っています。個人の歴史は、その時代その地域の様子を映し出します。目の前の先輩の語り口に誘われて、人と人が関わり合いながら歴史が編み上げられることを認識でき、世代のバトンリレーの必要性を感じています。

■こども食堂

毎月1回開かれる水島地区にあるこども食堂のお手伝いをしています。運営者の方からは「食事の提供だけでなく、そのあとの団らんが大事です。」と言われていています。イチから高校生が企画して、食材調達の一部、調理、お楽しみ会、広報等、全部を任せられることもあります。やりがいを感じています。



岡山県立倉敷中央高等学校

4つの学科で地域とつながる

取組等の概要



水島学習（普通科）

1年では水島の企業や歴史に触れ、2年では水島で働く女性にインタビューをします。



家政科の日（家政科）

保護者や地域の方をお招きし、カフェ、ファッションショー、手芸のワークショップなどでおもてなしをします。



看護科の日（看護科）

中学生、保護者や地域の方をお招きし、研究発表や体験交流などを通して学びの成果を発表します。



ウェルフェアデー（福祉科）

実習でお世話になっている施設のご利用者さんに、交流を通して感謝の思いを伝えます。

倉敷中央高校には「普通科」「家政科」「看護科」「福祉科」の4つの学科があります。各学科の特色あるカリキュラムにより、「主体的に行動できる創造性豊かな生徒」「何事にも粘り強くチャレンジする生徒」「互いに協力し合える生徒」を育成しています。

4つの学科がそれぞれの特長を生かして地域とつながり、地域に貢献する倉敷中央高校の新しい魅力を創り出しています。

岡山県立玉島高等学校

「世界にはばたけ玉高生」

～グローバル人材育成プログラム～

取組等の概要



「多文化共生ワークショップ」



「ベトナム海外研修」



「カナダ姉妹校訪問」

◆取組の目標

グローバルな視点を持ち、将来地域のリーダーとして活躍できる生徒を育成しています。

◆取組の特徴

- ◎国際的に事業展開する地元企業との連携
- ◎カナダの姉妹校とベトナムの交流校による協力
- ◎地域の社会人や留学生との実践的活動

◆取組の概要

国際感覚の醸成を目指して本校が企画した主なプログラム

①多文化共生ワークショップ

多文化共生社会において町づくりや防災はどうあるべきかを地域の社会人や留学生と考える

②ベトナム海外研修

ベトナムに進出している地元企業での研修や、現地の大学や高校での交流

③カナダ語学研修&姉妹校訪問

語学研修&ホームステイに加え、姉妹校でカナダの高校生活を3日間体験

④イングリッシュセミナー

4名のALTによる自国文化紹介と英語によるコミュニケーション活動

岡山県立倉敷鷺羽高校

アメリカ姉妹校交流と長期留学生滞在 鷺羽で送る国際感覚豊かな3年間

取組等の概要

■岡山県立高校で唯一 米国カリフォルニア州のデービス高校との相互交流



鷺羽からデービスへ

平成30年3月13日～26日、本校生徒10名がデービス高校生徒宅にホームステイしながら授業に参加したり、市長の表敬訪問などを行ったりしました。



デービスから鷺羽へ

令和元年6月19日～29日、デービス高校生9名が本校生徒宅にホームステイしながら、本校の授業に参加したり浴衣を着ての茶道体験や児島のジーンズ工場見学をしたりしました。

倉敷鷺羽高校は、岡山県立高校で、唯一、米国カリフォルニア州のデービス高校との相互交流を行っており、これまでに延べ82名の生徒が渡米し、米国から88名が来校しています。また、毎年、アメリカ、ニュージーランド、インドネシア、オーストラリア等からの長期留学生が滞在し、一緒に授業を受けたり、行事で活躍したりしています。

■長期留学生とともに

地域に根ざした国際交流を推進



この春来日したマデリン・リデイさん。(オーストラリア出身)本校生徒と一緒に地域清掃ボランティアに参加。

昨年度来日したムハammad・ギファーリー君。(インドネシア出身)食物栄養モデルの生徒と一緒に茶道体験。

アメリカ(H28)、ニュージーランド(H29)、インドネシア(H30)、オーストラリア(R1)の生徒が長期留学し本校生徒と共に様々な学習に取り組んでいます。部活動やボランティア活動にも積極的に参加し、交流を深めています。

岡山県立倉敷工業高校

スーパーエンバイロメントハイスクール 研究開発事業～5科による共同開発～

取組等の概要



○取り組みの目標

本年度より三年間、岡山県教育委員会の指定を受けて、スーパーエンバイロメント研究開発事業がスタートしました。この事業は、工業高校のものづくりの特長を生かし、大学や企業の研究機関との連携をとおして、資源のリサイクルを目指す環境教育を推進することを目的としています。

○取り組みの特徴

本校には、機械、電子機械、電気、工業化学、ファッション技術・テキスタイル工学の5つの専門科があります。それぞれの科の専門性を生かしながら、5科が共同で研究をすすめていきます。

本年度はテキスタイル工学科の実習で発生する廃棄物（端切れ繊維）の減少を図るため、工業化学科が繊維くずを酵素の働きによって糖化し、発酵によりアルコール化させる研究をすすめています。

岡山県立水島工業高校

M E C I Aプロジェクト ～仲間と共に協力して事を成し遂げる伝統～

取組等の概要



エアロM E C I Aの飛行実験



プラント施設による環境学習



技能検定の資格取得

○取組の目標

多様な特性に対応した活動を通じて、心身共に本物を目指し、調和のとれた社会人として必要な資質を育成しています。

○取組の特徴

- 1 創造的なものづくり
- 2 地域と密着した社会貢献活動
- 3 地元と連携した学習体験
- 4 学科の垣根を超えた資格取得

○取組の概要

- ・ 5つの専門科（M機械科・E電気科・C工業化学科・I情報技術科・A建築科）が連携した共同プロジェクト（トライブリッド有人小型飛行機の製作）
- ・ “飛び出せ！水工生”出前ものづくり教室（高梁川流域倉敷三斎市への参加）
- ・ N P O法人等と連携した体験活動（倉敷町家トラストでの活動）
- ・ 個性と可能性を伸ばす資格取得（技能検定へのチャレンジ）

岡山県立倉敷商業高校

教科横断型授業「倉商AAA」

— 倉商生が地元の倉敷美観地区を観光客にご案内 —

取組等の概要



ガイド実習中



留学生にガイド中



IVYをながめながら

○取組の目標

自ら学び、地元地域への愛着や誇りを持ち、将来、地域に貢献する人材育成を目標としています。

○取組の特徴

3年生課題研究「倉商AAA」商業＋英語＋地歴 が担当する教科横断型授業です。学校から徒歩15分の倉敷美観地区でガイド活動を行います。

○取組の概要

「倉商AAA」とは3年生の選択講座のひとつで、読み方は「トリプルエイ」。AAAは、Amigo Area Attendant（友人のように親しみを込めて地元地域を案内する者）の略です。秋の観光シーズンに倉敷美観地区で観光ガイドをすることを目指して、地域の様々な方のお力を借りながら学習を進め、商業の科目で学習した内容を確認、実践し、英語を使ってみることに挑戦します。

観光産業や地域について学習し、おもてなしの仕方やコミュニケーションスキルの向上をめざしています。地域の方々の協力を得ながらの学習は、街の過去と現在について知る絶好のチャンスであり、未来を形成する人材への期待を担うことでもあります。倉敷商業高校はこれからも地元倉敷を愛する学校として、生徒が地域に貢献できる人材となれるよう活動をしていきます。

岡山県立玉島商業高校

玉翔エボリューション『新たな学びの創出』 ～eラーニングシステム「moca」を 活用した新しい学びの形～

取組等の概要



いつでもスマホで教材活用



40台のiPadも授業で活用



求人票もスマホで確認

○取組の目標

「質実剛健」の校是と「誠実・勤勉・礼儀」の校訓のもと、主体的に考え志を持って、率先して実践できる生徒を育成しています。

○取組の特徴

eラーニングシステム「moca」を活用した「玉翔ビジネスマスタープロジェクト」を中心としたカリキュラムマネジメントの構築

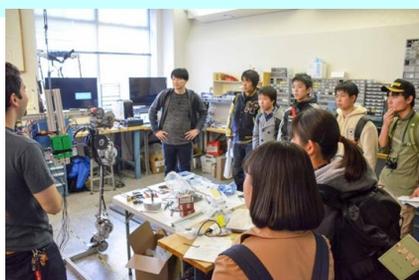
○取組の特徴（玉翔ビジネスマスタープロジェクト）

- ・「玉島学習」（1年）玉島の歴史と産業について学習する。
生徒はスマートフォンに配信される動画コンテンツで学習し、フィールドワークで内容を検証する。
- ・「総合的な学習の時間」『玉ナビ』（2年）1年次の玉島学習を踏まえて、玉島の現状について調査研究する。
玉島地域研究（探究・課題解決学習）を実施する。作成した報告書は「moca」で共有する。
- ・「課題研究」（3年）玉島の未来について探究する。
1年生（玉島の過去）⇒2年生（玉島の現状）での調査研究を踏まえ、玉島の地域が抱える課題を解決し、地域玉島の未来について探求する。
作成した報告書、プレゼンテーションは「moca」で共有する。



「VGRって何だろう？」 ～未来を切り拓く人材の育成～

取組等の概要



【SSH海外研修】
マサチューセッツ工科大学にて



【SSH海外研修】
スミソニアン博物館にて



【学校設定科目 サイエンス
メディカルサイエンスⅠのようす

津山高校は、平成24年度から文部科学省のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）の指定を受け「VGRの育成」を学校全体でめざしています。

この事業を最大限に活用し、学校設定科目「サイエンス」や各種研修で、大学の先生の講義や地域との連携など全国に誇れる取組をしています。



未来を切り拓くトップサイエンティストの基盤となる‘Vision’、‘Grit’、‘Research Mind’の育成

【主な成果】

- ◎全国レベルの研究発表入賞
(H29日本水産学会高校生発表)
(日本地球惑星科学連合2017年大会高校生セッション)
(第13回科学地理オリンピック二次予選突破)
- ◎県レベルの研究発表入賞
(第18回岡山県理数科課題研究合同発表会)
(集まれ！科学への挑戦者 ポスターコンテスト)
(科学オリンピックへの道 岡山物理コンテスト)
- ◎合格実績
東京大学、京都大学、医学部医学科、
旧帝大など難関大学（大阪大学・神戸大学など）

【小学生・中学生のみなさんへ】

- ☆津山中学・津山高校で行われる8月のオープンスクールでは、各教科の模擬授業等でVGRの一部を体験できるかも？！
- ☆津山中学・津山高校合同で行われる9月の十六夜祭※では、生徒のグループ研究ポスターの展示や科学実験を交えた企画もあります！
(※本校の学校祭で「いざよいさい」)

岡山県立津山東高校

地域医療を担う人材を 看護科

取組等の概要



認知症サポート研修※①



津山市総合防災訓練※②



戴帽式

○取組の目標

津山東高校看護科は地域の医療に目を向け、地域医療に貢献できる人材を育成し、卒業後も向上心を持って学び続ける生徒を育てています。

○取組の特徴

- 1 地域医療関係者との連携
- 2 地元病院の方と連携
- 3 学校キャッチフレーズ
「殻を破ろう 人と繋がろう」の推進

○取組の概要

- ・認知症サポート研修 写真※①
地域の高齢化に伴う認知症の増加に対応すべく、津山市地域包括支援センターと連携し、研修を実施。生徒は認知症への理解と対応の仕方を学ぶ。平成29年度には津山市内の高校生初となる認知症キャラバンメイトに看護科2年生4名が認定された。
- ・津山市総合防災訓練 写真※②
津山市が2年に1回行う津山市総合防災訓練。ボランティアで専攻科生有志が参加。大地震を想定した大規模な訓練で、専攻科生は、トリアージ(災害や事故などで同時発生した大量の負傷者を治療する際、負傷者に治療の優先順位を設定する作業)や避難誘導の訓練をした。

津山東高校看護科 生徒募集

東高看護科 20歳で自立 夢をかなえる

看護師へ
最短で最安



授業料比較 100実績本校調べ

津山東高校 専攻科2年間	A看護専門学校 3年間
入学金 5,650円	入学金 28万円
授業料2年間 297,600円	授業料等3年間 114万円
合計 約30万円	合計 約142万円

※その他 教科書代10万円程度 学校徴収金年8万円程度かかります

専門学校3年目は東高専攻科卒なら病院勤務
年間収入300万円ならその差400万円以上

国家試験合格率9.8% 実績の津山東高校
岡山県立津山東高等学校 ☎0868-22-9307

岡山県立津山工業高校

竹の有効活用 ～循環型資源活用の取組～

取組等の概要



竹の伐採から運び出し



竹チップの牛舎敷料



整備された竹林

岡山県北の地である美作地方は日本の多くの地域と同様に少子高齢化が進み、特に機械化が難しい畑や田が耕作放棄地になり、雑草が生い茂り、手入れされていない竹林が広がる風景がいたるところで見られます。平成27年6月に工業化学科の1年生40名が、「地域の山野の状況を知る森林活動」で体験したことから始まり、全7科の取り組みに発展した、竹資源の有効活用の取り組みをみなさんに紹介します。

平成27年には、岡山県農林水産総合センター森林研究所の協力で、27年12月に7学科の代表1年生21名が、勝間田の竹林の現状を見学し、竹を伐採し、竹炭作りを体験しました。また生徒達の地道な取組により、竹林の整備事業も地域の理解が得られるようになり、近隣の竹林所有者の協力を得ることができ、竹資材の確保も容易になりました。

この体験活動がスタートですが、美作・津山地域を様々な視点からもう一度見てみると、B級グルメ「津山ホルモンうどん」「蒜山やきそば」でも有名な食肉の産地であり、畜産農家も多いことがわかりました。そこで、微粉碎した竹チップを利用した牛舎敷料と使用済みの敷料を土質改良材として再利用することの研究に取り組み、地域から大きな反響を頂きました。この取り組みは「2016高校生テクノフォーラム」で最優秀賞を頂きました。

また和牛農家の竹チップが臭いを軽減するという感想から現在は竹チップの消臭材に重点を置き、研究を進めています。また「津山城竹水鉄砲合戦」では竹水鉄砲の製作や「つやま城もみじまつり」の竹モニュメントなどの依頼があるなど、取組の幅も広がっています。

岡山県立津山商業高校

「津商モール」の学びは 社会に通じる

取組等の概要



戦略会議



お客様に対して丁寧な案内



おすすめ商品を英語で紹介

○取組の目標

津山商業高校におけるすべての学習の成果を実践する場である「津商モール」を中心市街地で開催し、地域の現状を肌に触れることにより、地域社会に貢献する生徒を育成する。

○取組の特徴

- 1 中心市街の関係者、地元産業界との連携
- 2 小学生・中学生との販売体験活動での地域貢献
- 3 社会との学びの繋がりを実感できる教育活動

○取組の概要

- ・ 3年生課題研究『津商モール』講座を選択する生徒が中心になり、全体の企画・運営・調整を行う。その中で、中心市街地商店街（ソシオ一番街）や拠点商業施設（アルネ津山）などを有効に用いた販売計画を立案する。
- ・ 「津商モール」を授業における一教材に位置づけ、実社会・実生活との関わりを踏まえ、発揮できる力を養成する。
- ・ 事前に通行量調査を行うなど実地調査とともに、統計資料を用いて津山の商業の現状や中心市街地の問題点などを考察する。
- ・ 中心市街地の空店舗や商業施設を利用することで、地域の課題を自らの問題としてとらえ、高校生らしいアイデアを立案・実行する。

岡山県立玉野高校

OUTPUTする玉高生！

取組等の概要



ガールズロケット
モデルロケットの飛翔の安定化に向けた研究、大会への出場！



誰もが弾く喜びを感じられるギター演奏サポート装置の開発の発表！



UNOICHI実行委員による瀬戸芸でSOSプロジェクトのプレゼン！



外国人船客へ玉野の町を英語でガイド！



地域活性化のためにできること発表（総学）



ダンス部による小学生対象ダンス教室開催！

本校では、さまざま分野で学んだことや研究したことを積極的にOUTPUTしています。理系の科学研究では毎年多くの活動をしており、学会や大会などで発表しています。また、地域を訪れる観光客に向けてUNOICHI実行委員会が行っているSOS(Save Our Sea)プロジェクトの内容をプレゼンテーションしたり、学んだ英語で外国人にガイドをしたりしています。さらに、部活動を中心に小学生を対象にダンスや英語教室を行っています。



E S S部、小学生対象英語教室開催！

岡山県立玉野光南高校

時代の風をつかまえて オリンピック・パラリンピック教育 ～共生社会の実現に向けて～

取組等の概要

「令和元年岡山県オリンピック・パラリンピック教育推進事業」（オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業（スポーツ庁委託）の高校唯一の指定校として、体育科を中心にオリパラ教育に全校で取り組んでいます。生徒のオリンピック・パラリンピックへの関心を高め、スポーツの価値や効果の再認識を図るとともに、ボランティアスピリットの涵養、国際・異文化理解、共生社会への理解等を深める学びを進めています。



パラリンピック金メダリスト
新田 佳浩氏 講演会



岡山デビルバスターズによる
ブラインドサッカー体験



校外研修（修学旅行）
ナショナルトレーニングセンターで新田氏と交流。令和2年度、体育科1・2年次生は2020年オリンピック観戦へ！



体操服を一新
令和2年度から、2020年オリンピックをイメージした新しい体操服に



■ スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築をテーマに、「パラスポーツ」の競技体験やその学びを通じて、コミュニケーションや多様性を尊重し、共生社会を支える生徒の育成を目指します。



風光る 汗光る 夢光る
Tamano Konan High School

岡山県立笠岡高校

「さあ、未来をデザインしよう！」 ～ともに学び楽しみ、輝く自分が見つかる～

取組等の概要



自分の力を最大限に伸ばす
習熟度別少人数授業・発展的講座



英語コミュニケーション能力を磨く
本校独自科目「Global English」



知識をつなげ、考える力を鍛える
探究活動

笠岡高校（愛称：千鳥）は、新しい時代に必要な
6つの力＝未来開拓力を身につけた人を育てます。
部活動も学習も、そして自分らしい夢も実現したい、
それをかなえるのが千鳥スタイルです。



～ 未来開拓型カリキュラムで、ミライを形にする！ ～

☆ あなたの力を最大限に伸ばします！

個々の力に応じた少人数授業で生徒一人ひとりに最適な学習支援

- ・「国語」・「数学」・「英語」・「理科」で、「標準」・「発展」のコースを選べます。
- ・難関大学を目指す国語や数学などの発展的講座もあります。また、ICT活用などにより効果的な学習支援を行っています。

☆ 英語コミュニケーション能力を磨きます！

各学年に独自科目「Global English」を開設し使える英語を実現

- ・英語でのやりとりや英文の要約などを通して英語を理解し、話すための基礎的な力を養います。
- ・プレゼンテーション、エッセイライティングを通じて、英語で説明するための実践的な表現力を身につけます。

☆ 知識をつなげ、深く考える力を鍛えます！

「地域学」→「テーマ探究」→「探究」へと続く系統的探究プログラム

- ・1年ではグループ活動で地域課題に改善策を提案、2年では個人活動で興味のある課題を半年かけ研究し論文を作成。3年では、現代社会や自然科学の諸問題について考えをまとめ発表することで深い学びを実現します。



岡山県立笠岡工業高校

ドローン測量・実践的活用

取組等の概要

昨年度より始めた 全国でも珍しい授業でのドローン測量（ドローン測量についての最先端の知識・技術を身につけ、安全な運用ができる技術者の育成を目的として、3年生の教科「実習」「課題研究」において実施）において、郊外での実践的活用を企業の協力のうえ、行っています。昨年度、笠岡湾干拓地のかさおか太陽の広場で、BMXコース約5.6畝部を測量しました。

BMXコースでの測量風景



本年度は、笠工テクノ工房の一環として、笠岡市役所商工観光課からの依頼で、道の駅「笠岡ベイファーム」の景観作物畑での測量や、農政水産課からの依頼でアマモ場の面積を計測する予定です。

そのため、実践で使用できる機体の台数を増やす予定で、実践で使える本格的な練習を繰り返し行うことができます。

○所有機体

- ・練習機 DJI TELLO 3機、有線ドローン 3機
- ・実践機 DJI PHANTOM4PRO 1機（本年度 追加購入予定）

○その他

- ・ SfMソフトウェアにより測量データを三次元モデルデータを作成しています。
- ・ ドローンシュミレーターにより本格的な実践練習を行っています。

岡山県立笠岡商業高校

笠SHOP

取組等の概要



「せとぷりバーガー」販売
(商品開発班)



H30産業観光ツアー
(観光班)



フィールドワーク
(観光班)

「笠SHOP」とは3年生の授業「課題研究」の講座のひとつでいまや笠商ブランドともいえるものです。商品開発と販売を行う商品開発チーム班と、笠岡諸島等の観光ツアーの企画・実施をする観光チーム班に分かれて活動しています。商品開発チーム班（スタッフ10名程度）は、笠岡ブランド牛（瀬戸の姫）の「牛串」を始め、瀬戸の姫の牛肉、Y&Gディストリビューターのフリルレタス、アサムラサキのゴマゆずドレッシングなど地元食材を用いて富士製菓さんと共同開発した「せとぷりバーガー」や地元の工房と開発したクッキーである「ごぼこち」など、食材とネーミングにこだわった商品を開発し、校内のみならず地域のイベント等で不定期に販売しています。

観光班（スタッフ10名程度）は、平成28年度から笠岡諸島を中心に、笠岡の名所を巡るツアーを計画しており、「笠岡市」や「かさおかブランド協議会」に協力をいただきながら実施しています。平成28年度は、「寒さもぶっとび～ ¥4,010（ほっと）ツアー」で3コース、平成29年度は、「そうだ！島へ行こう！」で2コース、平成30年度は「見て！触れて！食する！¥4,980（よくばり）ツアー」で産業観光ツアー3コースを実施しました。令和元年も実施予定です。毎年のツアーでは、1コース15名程度の参加があります。どちらの班も地域と連携して、地域の方の協力を得ながら取り組んでおり、地域の人たちには大変好評です。また、多くの人たちと関わることによって、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、責任感などを身につけることができ、わが校自慢の取り組みです。

岡山県立井原高校

地域とコラボ ～井高生が進める地域活性化～

学科総合型高校の特長を生かした社会貢献活動



耕作放棄地を活用した
キクイモの栽培



地域の伝統行事「鬼まつり」
パレードに参加



竹灯りオブジェによる
井原駅前のライトアップ

○取組の目標

地域に求められる学校づくり～進んで地域や社会に貢献する心豊かな人材の育成

○取組の特徴

- 1 3つの異なる学科がそれぞれの特長を生かして、地域の様々な団体とコラボし、地域活性化を推進。
- 2 地域のニーズをくみ上げ、win-winの関係で持続可能な活動を展開。
- 3 取組を通して郷土愛を育み、未来の井原を担う人材を育成。

○取組の概要

「キクイモで井原を元気に～地域振興プロジェクト」

岡山イノベーションコンテスト2018で大賞を受賞。遊休地の活用や家政科と連携し調理レシピの考案を行うなど6次産業化まで見据えた取組。

「井原高校ふれ愛まつり」 & 「井原の鬼まつり」

井高生が地域の伝統・文化の継承に貢献するコラボ企画。2018年度から「ふれ愛まつり」の会場を南校地に移し、地域と一体化した賑わいを創出。

「ミナクルネ～冬のSAKURA」

井原高校生徒会と井原商工会議所のコラボ企画。興譲館高校と福山大学もプロジェクションマッピングを制作・上映。駅前のライトアップに華を添えた。

岡山県立総社高校

地域、岡山県立大学と連携した探究学習

取組等の概要



岡山県立大OPUフォーラム
ポスターセッション



社会人講演会
総社市まちかど郷土館 浅野智英館長



総合的な学習の時間での
フィールドワーク

1 地域との連携による探究学習

1年

調査方法やプレゼンテーション等の研究スキルの習得

地元で活躍する方の講義による地域課題の理解



2年

分野ごとに分かれて課題発見・課題解決策の探究

プレゼンテーションの実施

連携先

総社市役所政策調整課、総社市役所保健福祉部こども課、総社市東学校共同調理場
総社市東部北地域包括支援センター、総社市まちかど郷土館、大原美術館、まるみ麹本店
一般社団法人データクレイドル、株式会社LIFULL地方創世推進部、NPO法人きよね夢てらす子育て応援こっこ、NPO法人総社商店街筋の古民家を活用する会等

2 岡山県立大学との連携

- 県立大学主催OPUフォーラムへの参加
- 「岡山創生学（おかやまを学ぶ）」の講義への参加
- 県立大学教員による出前講座
- 本校OBの県立大学生による地域探究活動の実践報告
- 家政科2年生「デザイン実習」での県立大学の講義聴講（年6回）

岡山県立総社南高校

県内唯一の普通科・美術工芸系！

～美術分野で活躍する人材を育てる～

概要



授業風景



大山宿泊実技学習



人体（裸婦）デッサン講習会

○目標

美術系国公立大学を中心とした美術系大学へ進学し、さらに専門的・創造的な技能を身に付け、クリエイティブに社会に関わり、貢献する人材の育成

○特徴

- ・国際系、理数系、人文系と並ぶ4つのタイプのうちの一つ
- ・美術系国公立大学の受験に必要なバランスの良いカリキュラムと実技指導
- ・美術系の大学受験に対応した最大16時間（3年生）の専門授業
- ・充実した施設と授業内容及び類型独自の行事
- ・卒業生同士の繋がりが深い

○概要

- ・美術系国公立大学を受験するために必要な普通教科がカリキュラムに入っており、画塾などに通わなくても放課後も含めて学校にいる時間の中で普通教科も美術実技も取り組めます。
- ・大学を出た後の様々な進路のイメージを持つ助けになる講演会などを、年2～3回実施しています。
- ・プロのモデルさんを招いての裸婦デッサン講習会など、複数の実技講習会を長期休みや土曜日を利用して実施しています。
- ・多くの卒業生が美術の世界や美術教育の分野で活躍しています。また、卒業生同士の繋がりが深く、総社南高校OB展も開催されています。

岡山県立高梁高校

姉妹校交流30年 ～差異の先にある人間交流～

取組等の概要



姉妹校生徒と松山城登山



家政科と姉妹校との交流



アンペール高校生と授業内交流

本校は、平成3年2月に、南オーストラリア州のアデレードにあるノーウッド・モリアルタ高校と姉妹校協定を結び、以来、隔年で相互訪問を行っています。現在まで両校から500名を超える生徒・職員がこのプログラムに参加し、両校間の友好・親善、また、異文化理解・国際的視野の拡大などを図り、国際理解教育を推進しています。

2週間程度の短期訪問・短期受入では、学校生活や校外研修およびホームステイ生活などを通して、言葉を超えた交流を深め、友情の輪を広げています。短期訪問を通じ、生徒の英語力向上はもちろん、オーストラリアという多民族、多文化環境に身を置くことで、生徒たちは自分たちの視野が派遣前より広がったという実感を持っています。

平成11年度には両校間で新たに長期交換留学制度を締結し、平成12年度から年に1名程度の留学生を交換することにしましたが、平成21年初めに南オーストラリア州の交換留学規定が変更になったことを機に長期留学を取りやめ、代わりに夏季留学(7月半ば～9月末)を開始しました。本校から生徒を派遣する場合は、“Foundation Course”と呼ばれる、移住して間もない生徒を主に対象とした英語集中プログラムに参加し、英語力の向上が見られる場合には、現地の生徒と同じ授業を受けています。また本校に生徒を迎え入れる場合は、彼らに対し英語科のみならず、他教科の教員も日本語の授業を担当しています。これは学校生活だけでなく、日本の日常生活に対応する日本語力を身につけさせることを目標としていますが、指導担当者の個性や教科特性が大いに反映されたプログラムになっています。

来年度迎える「姉妹校協定締結30周年」を前に、協定内容の改訂作業を両校の担当者を中心に行いました。改訂により、ノーウッド・モリアルタ高校がホストとなって推進する、“Global Summit”への高梁高等学校からの参加や、両校教職員の現地視察や体験授業を実施することができるようになりました。

また、高梁市はフランス・リヨン市のアンペール高校と昨年新たに教育交流協定を締結し、4月22日にアンペール高校訪問団の受け入れが実現しました。この教育交流協定は、英語圏以外の国との交流を通して、高梁市内の高校生に幅広い国際感覚を身につけてもらうことを目的としています。今後は、高梁高校からアンペール高校への訪問も計画しており、国際交流・異文化理解をより一層充実したものにしていける予定です。

岡山県立高梁城南高校

地域と連携、地域と共に発展し続けるデザイン科&美術部

取組等の概要



吉備国際大学アニメーション学科との連携授業



現在使用されている高梁市婚姻届け



高梁市法務局の擁壁巨大壁画（美術部）

○デザイン科の歴史と目標

昭和23年「木材工芸科」として高梁の地に設立しました。45年「デザイン科」に改編されて以降、地域と共に発展し続けています。現在、3分野（ビジュアル・プロダクト・スペース）のデザインの作品制作活動を通じて、社会に貢献しうる発想力、造形力、コミュニケーション能力を持った人間性豊かな人材の育成を図っています。

○取り組みの内容

- ・ 大学と連携した授業展開（吉備国際大学アニメーション学科 令和元年度から）
- ・ 備中たかはし松山踊りのポスター作成（高梁市産業観光課と連携 30年間継続）
- ・ 高梁市の風景画38景の作成（地域企業との連携 約10年間継続）
- ・ 婚姻届けの作成（高梁市役所からの依頼により作成し、平成30年から使用）
- ・ 毎年国公立大学に進学（8年間で27名）
- ・ 毎年卒業制作展の開催（高梁市文化交流館に全生徒の作品を展示）
- ・ 高梁法務局擁壁に巨大壁画（美術部 平成30年度）
- ・ 高梁市栄町通り 商店シャッターに壁画（美術部 平成29年度）
- ・ 吹屋ベンガラ灯り エコキャンドル灯籠を提供（美術部 平成28年度）
- ・ 備中松山城登山口 城見橋公園公共トイレ陶板レリーフ（美術部 平成27年度）

岡山県立新見高校

おかやま創生 高校パワーアップ事業

取組等の概要



主権者教育におけるグループ討議



畜産共進会への参加



地元小学校でのプログラミング教室



地元小学生へのパソコン教室

本校は新見市唯一の県立高校として地域との連携活動を重視してきました。2018年度から「おかやま創生 高校パワーアップ事業」の推進校となり、より「パワーアップ」して地域との連携活動を行っています！

<普通科>

主権者教育の一環として、グループごとに新見市について調べ、新見市をより住みやすい町にする方策を議論し、新見市議会に地域資源の活用法を提案したり、地域の問題を提起しています。

<生物生産科>

新見市の特産品である千屋牛の育成やスズランの栽培をはじめ、地元の小学生とともにサツマイモやイネの栽培をするなど、地域に密着した活動を通じて新見市を元気にしています。

<工業技術科>

地元の小学生に対してプログラミング教室を行ったり、「わくわく産業ランドinにいきみ」で来場者にLEDを用いたクリスマスリース作りの指導するなど、身につけた技術を地域に還元しています。

<総合ビジネス科>

地元の小学生と、パソコンやそろばんで交流したり、地元商店などで販売実習を行い、地域での学習に取り組んでいます。

岡山県立備前緑陽高校

地域に貢献する県立高校

～社会貢献活動の積極的な展開～

取組等の概要



＜チョイヤサ祭り＞
復活した祭りに貢献



＜片上小学校算数教室＞
児童への学習支援



＜デイケア訪問＞
施設利用者とのふれあい

○取組の目標

社会貢献活動を推進して、思いやりの心やコミュニケーション能力を身につけ、社会に有用な生徒を育成しています。

○取組の特徴

- 1 様々な団体(町内会・小中学校・認定こども園・福祉施設・備前市役所など)との連携・協力。
- 2 30種類以上の活動の中から、生徒が自主的に選択して参加。
- 3 自主的に選択した活動に参加し、振り返りを行う中で、コミュニケーション能力や指導力・積極性などの向上が見られる。
- 4 卒業までに、10種類を超える社会貢献活動に参加する生徒も多数。

○取組の概要

＜生徒が選択して自主的に参加＞

町内会：ひな巡り(おひなさま飾り・茶席)、

チョイヤサ祭り(担ぎ手・乗り子・出店手伝い・司会)

地域見守り隊・流川清掃・カキオコ出店手伝いなど

小学校：算数教室、ダンス指導、ポスター指導などの学習支援

中学校：出前授業アシスタント

認定こども園：交流活動など

福祉施設：ふれあい活動、祭りの補助・吹奏楽部による演奏など

備前市商工会議所：地元企業との連携・企業広報活動補助

備前市役所等が主催する事業の補助

岡山県立邑久高校

探究学習～地域学“セトリー”～

取組等の概要

「地域の魅力と課題を学び、地域の活性化に貢献するリーダーの育成～Be a SETOUCHI Leader～」をテーマとした地域学の活動を行っています。瀬戸内市をフィールドに、高校生が地域の方と連携して地域課題の解決に取り組むことで、主体性・思考力・協働性・課題解決能力など、社会で必要な力を養い、将来地域の発展を担う人材として成長していくことを目指しています。



瀬戸内市長から、市の現状や課題、取組について直接講義を受け、瀬戸内市への理解を深めます。

研究グループごとに、図書館やインターネットで情報の収集をし、関連施設を訪ねて話を聞き、実験や活動に取り組みます。

大学の先生を講師に、発表する時の資料の作り方や話し方のコツを教えてください。

地域の方や外部の先生を招いて、ポスターやスライドを使って研究成果を発表し、活動報告や地域への提言を行います。

研究テーマ例: 「災害に負けない市に」「映える体験型ツアー」「ハンセン病」「淡水魚の繁殖」「地元の食材の成分分析」

研究グループごとに瀬戸内市・地元企業・NPO・邑久地区コミュニティ協議会や大学との連携によって、地域の方の講義や、関係施設や大学の訪問、イベントの共同開催などが活発に行われています。実践報告会ではポスターセッション、スライドによるステージ発表を行い、多くの地域の方々から感想や意見、激励を頂きました。

地域を愛する気持ちや、地域の活性化に貢献する前向きな気持ちが育成されています。また、地域という視点から、自己の進路への理解を深めることにつながっています。

地域学2018 - Be a setouchi leader

岡山県立邑久高等学校
Okazaki High School

泉 秀明・青木 千聖・清水 結梨香・清水 結梨香
Hideaki IZUMI, Chisato AOKI, Enka SHIMIZU and Yunka SHIMIZU

身近な食品・食材の成分を探究しよう!

1. はじめに
探究活動の意義、目的、準備をPRしたい!

2. 実験内容 詳細 写真付き
ビタミンCの含有量
ビタミンCは、抗酸化作用があり、免疫力を高める効果があります。また、肌の健康にも関係しています。今回は、身近な食品からビタミンCの含有量を測定し、比較を行います。

3. 実験結果
測定した食品のビタミンC含有量を比較し、結果をグラフで表します。

食品名	含有量 (mg/100g)
レモン	52.0
イチゴ	42.0
ピーマン	120.0
パプリカ	120.0
ピーマン	120.0
ピーマン	120.0

4. 瀬戸内市産家さんへの訪問
地元産品の魅力を伝えるための取り組みについて学びました。

まとめ
今回の活動を通して、地域の魅力を学び、地域活性化に貢献するリーダーの育成を目指しています。

岡山県立勝山高校

持続可能な社会づくりの担い手の育成

「バイオマス産業都市真庭」で再生可能エネルギーを探究

取組等の概要



地元真庭市は「SDGs未来都市」に選定され、豊富な森林資源を生かしたバイオマス発電所やCLTの利活用など、持続可能な地域づくりで全国最先端の取組が行われています。



そうした最先端の取組について、探究学習「夢現プロジェクト（総合的な探究の時間）」で施設見学や体験などを行い、学習しています。

岡山県立勝山高校蒜山校地

地域と連携した深い学びで郷土愛を育み、地域に貢献する人材を育てる。

～高校立てり、野に立てり！ 学びのフィールド「蒜山」～

取組等の概要



蒜山を知り・考え・提案する教科「蒜山」を中心に、積極的に地域に出向き、地域の歴史・文化・自然・産業などの研究や職業体験をしています。これらを通して、地域の活性化に貢献したいという強い気持ちが育っています。



岡山県立真庭高校

Think Globally, Act Locally

～持続可能な世界の実現を、真庭から始める～

取組等の概要



【落合校地】地元メディアと協働して真庭市の企業を訪問。SDGsについてインタビュー。



【久世校地】「地域とつながるミニパブリカ」の育苗と提供で持続可能なまちづくり。

■SDGs × 真庭市 × 真庭高校

真庭高校は教育のミッションとしてThink Globally, Act Locallyを掲げており、地球的な視野で考え、地域で行動できる人材の育成を目指しています。そして、真庭市は持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けた優れた取組を行う都市として、全国29都市の「SDGs未来都市」に選定されています。

真庭高校では、このSDGsを教育活動に取り入れ、授業等で地域と関わる教育活動を積極的に進めています。世界という共同体の一員として、自分が身を置く場所から、共同体の持続的継続的幸せのために何ができるかを考え、行動する学習を展開しています。

■落合校地 × Try&Report(TR)

TRとは、落合校地の総合的な探究活動の総称で、「Try=やってみる」ことを「Report=伝える」活動です。生徒たちは地域貢献をキーワードに地域に繰り出し、様々な体験を通して自分たちに何ができるかを考え、実践し、その取組を発表として形にします。

昨今の変化の激しい社会で求められる「答えの無い問いに向き合い、思考する」力を身に付ける探究型の教育活動です。



シンキングツールで皆の意見を深める



地域課題に繰り出し、地域課題を協議

■久世校地 × 地域貢献

久世校地では、農の力を利用して地域の人と交流し、地域連携や研究開発・地域資源の利用などについて共に試行錯誤することで、地域に貢献する実践的な活動に取り組んでいます。

ジビエ活用プロジェクトでは、真庭の課題である有害獣の有効活用に取り組んでおり、猪肉・鹿肉を使った発酵調味料やジビエ料理の研究開発を行っています。



ジビエカーネルでの解体実習



ジビエ料理講習会



岡山県立林野高校

ICTを活用した最先端の教育

～ 一人1台ChromebookとG Suiteの活用 ～

取組等の概要



作成したスライドで
プレゼンテーション



課題について
ディスカッション



自分のプレーを
振り返り

○取組の目標

一人1台所有しているノート型PC「Chromebook」及びGoogle社が提供するグループウェア「G Suite for Education」の活用を通して、主体的に学び続ける力や、課題発見・解決能力、協働性を育むことを目指しています。

○取組の特徴

1. 校内Wi-Fi整備率は100%！ いつでもどこでも使える環境
2. G Suite for Educationの様々なアプリを活用した協働的な学びの創造

○取組の概要

1. わからないことはすぐに調べることができ、学習意欲の向上が期待できます。
2. Classroomアプリでは、課題の管理や、授業の補足となる動画や資料の添付などができ、個々の生徒に対してよりきめ細やかな指導ができます。
3. 共同編集機能を使って、グループ全員で協働して作業することができます。リアルな対話と組み合わせ、お互いの思考を可視化することができます。
4. Formsアプリでは、アンケートや小テストの作成が簡単にでき、また回答した瞬間に自動集計や採点ができるので、生徒の実態把握にも役立ちます。

以上のように、一人1台のChromebookとG Suite for Educationの導入により新たな教授方法や教材の開発が可能になりました。これらのICTを活用した最先端の教育で、これからの時代を生き抜くために必要な力を育みます。

岡山県立鴨方高等学校

あさくち山環学プロジェクト

取組等の概要



「A S福祉・生活系列」
読み聞かせ講習会



「鴨方町手延べ麺まつり」
ボランティア



「手話講座」
地域グループとの交流

あさくち山環学プロジェクト

本校では、平成28年度から地域と連携した活動を「あさくち山環学プロジェクト」と名付けて、自然環境や観光資源などの探究活動やボランティア活動などを実施してきました。

○科目「A S 系列」

平成28年度から指定を受けた「おかやま創生高校パワーアップ事業」の取り組みの中で、3年生全員が履修する科目「A S（あさくち山環学）系列」を開講しました。従来の課題研究に、「地域活性化」というテーマのもと、地域に根ざした活動を取り入れ、系列別に専門性を加えて指導していく新科目です。3年生が、地域で探究的な活動を行い、12月には、発表会を行っています。

○ボランティア活動

本校では、様々なボランティア活動に力を入れています。特に、「鴨方町手延べ麺まつり」は鴨方高校の生徒ボランティアがなくては成り立たないと言われてもらえるくらい地域に貢献しています。その他にも「ウミホテル採取ツアー」や「クリーン作戦（地域清掃活動）」などのボランティア活動を通じて、生徒の自主性や自己有用感等を育み、社会に貢献する人材を輩出しています。

岡山県立和気閑谷高校

地域に根ざし世界に広がる活動

取組等の概要



探究学習発表会



こくさいフォーラム in Wake



韓国沃川高校との交流

1. 文部科学省「地域協働推進校」（地域魅力化型）指定校！

各教科・科目、総合的な探究の時間、課外活動の3つの領域を通して、卒業までに身に付けさせたい資質・能力「7つのチカラ」(自分を理解する力、職業とつなぐ力、考える力、行動する力、コミュニケーション力、チームワーク力、自立する力)の向上を図り、「地域と協働する探究人」を育成します。その中で、横断的、総合的な課題解決の場として、総合的な探究の時間「閑谷學」を3年間で4単位設定し、地元2市1町の役場や教育委員会、商工会等、地域のサポートを受けて、地域課題解決型探究学習を展開しています。コーディネーターとして、支援職員、カリキュラム開発等専門家、和気町地域おこし協力隊員が探究学習の企画立案に当たり、地域とのつなぎ役を担っています。総合的な探究の時間の3年間のねらいと具体的な活動は次のとおりです。

〇1年次：自己と学問のつながりを調査し考察する。

- ・探究の調査とインタビュー方法、発表手法を学ぶ。
- ・グループ活動を通じて、自他への想像力、学校や地域と自己のつながりを感じる。

〇2年次：自己と社会（世界）とのつながりを体験・調査し考察する。

- ・テーマに対する探究学習の目的・計画を立案し、体験・探究する。
- ・探究学習を通じて社会の諸問題と自己及び自己の進路のつながりを感じる。

〇3年次：自己とこれからの社会とのつながりを調査し提案する。

- ・各自の進路に応じて学問分野や業界の予想される未来像、実現したい未来像、自分がしたいことや提案をまとめる。

2. 国際理解学習

(1) 海外の姉妹校との交流

海外の高校5校(中国2、韓国2、台湾1)と姉妹校協定を結び、交流しています。今年度、韓国沃川高校、昌原龍湖高校が本校を訪れ、歓迎セレモニーをはじめ、授業、昼食会、ホームステイなど交流を深めました。来年1月20日(月)には、台湾の屏東女子高校が来校する予定です。

(2) こくさいフォーラム in Wake

県内在住の留学生を招き、ワークショップを通して海外の文化を学びながら、自分が生きる地域と世界について英語を活用して体験し、グローバルにもローカルにも共通する知見を学んでいます。

岡山県立 矢掛高校

平成28年度キャリア教育優良校・文部科学大臣表彰

やかげ学

～地域に支えられ、
地域を支える学校独自の教科～

(普通科総合コース・2年～3年)

取組等の概要



やかげ学・講座



やかげ学・実習



やかげ学・発表会

○取組の目標

高校時代は誰しも自分の将来に期待と不安を持っています。自分には**どんな仕事に向いているのか**、自分は**どんな生き方をしたいのか**。「やかげ学」では学校の中だけではなかなか見えてこないそんな悩みについて、地域に出て地域の方々の協力を得ながら**体験的**に学びます。実習先での反応を肌で感じ、社会に貢献できる実感も得られます。生徒それぞれの未来が自分の中で少しずつ見え始め、ちょっとした自信もつき、社会参画の意義も分かり始める。「やかげ学」ではそんなところを目指しています。

○取組の特徴

- 1 座学だけではなく、町に出での**実習活動**を重視
- 2 町の子どもや大人、お年寄り等との**異世代交流**を重視
- 3 体験から学んだことを、**自分たちの言葉**で表現することを重視

○取組の概要

* 普通科総合コース・2年～3年 毎週木曜日 (午後) 実施



保育園実習の様子

① やかげ学・講座 (2年1学期)

まずは**矢掛町のことを知る**ために、町役場の方々等に高校へ来ていただき、様々な町の特徴をお話していただきます。
(例：自然、農業、産業観光、福祉、文化など)



小学校実習の様子

② やかげ学・実習 (2年2学期～3年夏)

矢高と協定を結んでいる町内13の施設の中から自分が行きたいところを選び、毎週木曜日の午後そこへ年間通い続けます。施設の方の御指導のもと、仕事の一部を任せていただくことで、地域で働くことの**リアル体験**をしていきます。
(実習先：保育園×2・小学校×7・福祉施設×2・図書館・農業施設)



福祉施設実習の様子

③ やかげ学・発表会 (3年2学期)

講座と実習で学んだことを振り返り、2年間で**どんなことに気づき**、**どんなことをしよう**と考えるようになったのか、町の文化センター大ホールで発表します。



図書館実習の様子



農業施設実習の様子



実習先への出勤(?)風景

岡山県立勝間田高校

3級自動車整備士 資格取得を目指して

取組等の概要

総合学科自動車系列では、3級自動車整備士受験資格が得られる**県内公立高校では唯一の高校**です。専用の実習施設も有り、日々資格取得を目指して知識・技術を身に付けるために取り組んでいます。また、今年度より**エコカーにも取り組んでいます**。自動車・バイクに興味のある中学生、ぜひ勝間田高校へ！！

整備された実習施設



実習風景 1



実習風景 2



3級自動車整備士の受験資格を得られる公立高校では県内唯一の高校です。最新のハイブリッドカーも有り、自動車整備について基礎からしっかり学ぶことのできる系列です。また、溶接技術についても学ぶことができます。



エコマイレージ
チャレンジ2019
九州大会の様子

今年度より、エコカーの取り組みを始めました。1リットルのガソリンでどれだけ走ることができるかを競う大会へ出場しています。どうすれば燃費を向上させることができるかについて、「軽量化・空気抵抗・燃料効率・・・」とあらゆる要素を究極まで高めるように研究しています。今年度は144km/lまで記録を伸ばすことができました。

岡山県立烏城高校

地域とつながる

多様な年代の人とつながる

未来へつながる

定時制高校生の社会貢献活動

取組等の概要

烏城高校の
スローガン

優しくなれるところ

強くなれるところ

生きる力をつかむところ



金曜ボランティア



烏城高校のシンボル
八咫烏（やたがらす）

地域に感謝の気持ちを込めて、金曜日に清掃活動



平成30年7月豪雨災害義援金の募金活動
災害ボランティアへの自発的な参加



子どもたちの「ありがとう」の声
が活力に！



地域の保育園・幼稚園・京山公民館に
プランターに植えた花を贈呈



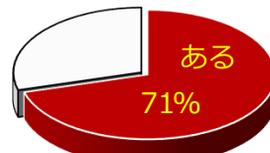
生涯学習センターとの連携
「科学キッズフェスティバル」のボランティアスタッフ

社会貢献活動の経験が、自己有用感の高まりにつながっている。

「自分はだれかの役に立つことがある」と思う



参加前



参加後

(ボランティア活動参加前後に実施したアンケート)



京山地区ESD推進協議会との連携
水生生物の調査補助

岡山県立岡山大安寺中等教育学校

「羽ばたけ大安寺生」

全員参加のオーストラリア海外研修及び前期DAIANJIプロジェクト
成果発表

取組等の概要



ブリスベンで全員集合



シャフストン語学学校修了式



羽ばたけ大安寺生ステージ発表

海外研修

前期課程の最後3年生の3月に、3年生全員がオーストラリアで約2週間、一人一家庭でのホームステイを行い、現地学生やホストファミリーとの交流を通じて、異文化理解を深めます。また、語学学校で英語の授業を受けたり、自分たちで行動計画を立てて、班別自主研修なども行います。1年生から「コミュニケーション」（国語）や「スピーキングイングリッシュ」といった科目を設定し、骨太な英語力やコミュニケーション能力を身に付けたり、日本に留学している海外の学生を招いて交流会を行ったりするなど、海外研修に向けた様々な取組が行われています。

DAIANJIプロジェクト

総合的な学習の時間等を活用し、行動力・実践力・課題解決能力などを備えた、「たくましい人間力」を育成する取組も行われており、その柱の一つでもあるキャリア教育として、1年生でのジョブシャドウイング、2年生でのジョブインタビューやチャレンジワーク、海外研修における職業体験や4年生での関西キャリア研修などが行われています。

羽ばたけ大安寺生

海外研修や前期課程での「DAIANJIプロジェクト」の成果を、4年生の6月に発表しています。前期生徒と保護者・一般の方を前に、ステージ上でスピーチやポスター・冊子等の形で発表、シンポジウム形式の討論や講演会を実施しています。今年度は、岡山大安寺高校のOB、東京大学の枝川教授をお招きして、講演会を行いました。

このような取組により、海外研修を終えた4年生は、主体的に行動することの大切さや、様々な人や物事に幅広く目を向ける視野の広さを身に付け、下級生は、自分たちがこれから身に付けていくべき力について理解し、興味を深めることができます。

岡山県立岡山盲学校

ここから世界へ ここから未来へ ～ 点字ブロック発祥の地で学び続ける ～

点字ブロック記念碑より

取組等の概要



点字ブロックの日の活動



マッサージ体験会



わくわく体験 盲学校

○ 本校の概要

岡山盲学校では、全く見えない人は点字や音声による学習、弱視の人は拡大教材による学習を行っています。地域のたくさんの方々にもご来校いただき、体育会では音源や手引きロープなどを頼りにした走競技を、文化祭では歌や演劇をはじめ、箏や三味線など伝統音楽などの発表を行いました。

学校の近くの原尾島交差点は、1967年世界で初めて点字ブロックが敷設された場所であり、点字ブロック記念碑には「ここから世界へ ここから未来へ」と強く刻みこまれ、地域の方々とともに、歩み続ける児童生徒を見守っています。

○ 取組の概要

1、点字ブロック記念日

3月18日の点字ブロックの日の取組として、いつも清掃に取り組んでいる岡山市立操山中学校ボランティア委員会とともに、清掃活動を行っています。

2、マッサージ体験会in盲学校

本校には理療科という、あん摩マッサージ指圧師、鍼師、灸師の国家資格取得を目指す職業課程があり、毎年、9月の土曜日に、近隣の皆様への日頃の感謝の思いを込めて、「マッサージ体験会」を行っています。知識を学び、技術を磨き、心を養い、将来は臨床家として独り立ちできるよう努力しています。

3、わくわく体験 盲学校

夏休みの公開講座では、「視覚障害の世界」「盲学校体験ツアー」「わくわく点字」「理療科のとびら」の5講座を実施しています。地域の小中学生をはじめ、たくさんの方々に盲学校の特色を体験していただいています。

岡山県立岡山聾学校

キャリア教育の連続性 ～学校と地域で学ぶ～

取組等の概要



工業高校でのガス溶接実習



キャリア教育フェア



最寄り駅のトイレ清掃

岡山聾学校は、110年の実績を誇る県内唯一の聴覚障害教育特別支援学校です。幼稚部から高等部まであり、高等部には普通科と総合デザイン科を設置しています。キャリア教育の連続性と地域との連携を意識した教育活動を行っています。

【幼稚部】

生活や遊びの中でキャリア教育を意識した活動を行っています。高等部で使用したウィッグを再利用し、ヘアデザインごっこや散髪ごっこをしながら、お仕事体験等もしています。



ヘアデザインごっこ遊び

【小学部・中学部】

仕事調べ、職場見学や就業体験、地域の高齢者施設や近隣の学校との交流学习等を通して、コミュニケーション能力を高めたり、自分自身の課題に気づき、その課題を解決する力を育てたりしています。

【高等部】

将来の職業人・社会人を目指し、地域交流・地域貢献・協働学習・職場実習等の活動に繋がりをもち、地域と連携しながら学びを深めています。また、専門学科を有する高等学校の協力により施設設備を活用した専門的な内容を学習しています。

ファッション・ヘアデザインコースヘア系を選択すると、国家資格である理容師免許の取得を目指すこともできます。

岡山県立岡山支援学校

ICTで可能性にチャレンジ (岡支×ICT＝無限大∞)

取組等の概要



在宅実習でテレビ会議中



顎のスイッチで計算



視線入力で選択中

○取組の目標

障害のある生徒一人一人の教育的ニーズに合わせた適切な機器（ICT）を使用したり、教材を活用したりすることで、様々な困難を軽減し、生徒の可能性を広げていきます。

○取組の特徴

- 1 個々の生徒のニーズに合わせた、適切な機器の開発・改良
- 2 校内実習や校外実習における、校外の企業との連携
- 3 高等部内にICTプロジェクトの設立

○取組の概要

・タブレットの利用

筆記ができにくい生徒には、タブレット端末のアプリを利用し授業やテスト時のノートテイクに活用しています。

・適切な機器の開発・改良

動きに制限がある生徒にも使いやすいトラックボールマウスの使用、呼気スイッチ等様々なスイッチの活用をしています。また、視野が限られた生徒に対しては、大画面のディスプレイを生徒机に設置し角度も自由に変えられるようにしています。

・視線入力機器の開発・改良

重い障害がある生徒にも、ICT機器が使用できるように、視線入力機器を開発・設置し、授業で利用しています。訪問教育の生徒も楽しんでICT機器の活用ができています。



岡山県立岡山西支援学校

地域と連携した教育活動

近隣の地域資源を取り入れた授業（高等部の取組）



ひらたの市での販売活動



学校周辺の奉仕活動



企業から請け負った仕事

○取組の目標

- ① 自立的な生活を営むために必要な実践的な知識、技能、態度を育てる。
- ② 積極的な社会参加をすすめるための勤労意欲・適応力の向上を図り、社会生活に必要な資質を育てる。

○取組の特徴

- ① 近隣の公共施設での作業学習で収穫・製作した物品の販売活動
- ② 近隣の施設に出向いての社会貢献活動（清掃活動等）
- ③ 企業から受託した仕事を取り入れた教育活動

○取組の概要

- ・ ひらたの市、岡山市立御南西公民館、岡山県健康づくり財団で年間を通しての定期的な販売学習【地域と繋がる】
- ・ 学校周辺道路、JR北長瀬駅の清掃や岡山市子どもセンターでのふれあい活動【地域に貢献する】
- ・ お菓子の箱折や段ボールの組み立てなど企業から請け合った仕事を積極的に授業にいかす取組【地域とともに仕事をする】

岡山県立岡山東支援学校



笑顔とともに届けます

～地域とつながり、地域の中で育つひがしっ子～

取組等の概要



岡山市中区役所で販売活動を行っています



岡山巔頂に参加しています



事業所の皆さんと一緒に大根の種蒔きをしています

東岡山駅北に位置する本校は、平成9年に開校し、肢体不自由部門と知的障害部門の二つの部門に分かれています。知的障害部門高等部では、作業学習で製作した製品や収穫した農作物を、地域のご協力をいただきながら、さまざまな場所で販売学習を行っています。平成30年度からは、「福学連携モデル事業」にも取り組み、福祉事業所の方々と一緒に本校の実習地で農作業をしています。

「おいしかったよ」「また買いにきますね」「次も楽しみにしていますよ」など地域の方や購入していただいたお客様から多くの声をいただき、その声に応えることができるように、学習を進めています。地域とつながり、地域の方とのかかわり合いを大切にしながら、生徒一人一人の自立と社会参加を目指します。



目指すひがしっ子姿

元気な子

がんばる子

つながる子

教育目標

一人一人の教育的ニーズをもとに、能力・特性に応じた教育を行い、主体的な取組をとおしてその可能性を最大限に伸ばし、積極的に社会に参加して豊かで充実した人生を送る人間を育成する。

岡山県立岡山南支援学校

地域を大切に 地域で学ぶ

～地域型実習と地域連携～



取組等の概要



農園芸班による公民館での販売活動



総合サービス班による妹尾駅での清掃活動



公民館で開講されている講座への参加

本校は、岡山県岡山市の南部に位置し、知的障害のある児童生徒が学んでいる特別支援学校です。学校の周辺には、農地や広大なグラウンドが広がっており、田畑に植えられた作物や立ち並ぶ木々から、四季の移ろいを感じることができる自然豊かな場所にあります。

○取組の目標

地域と連携した学習を通して、多様な体験と様々な人との関わりを充実させ、地域社会に貢献する児童生徒を育成します。

○取組の内容

「社会に開かれた教育課程」として地域とのつながりを大切にし、地域資源の活用や地域との連携による学習活動に取り組んでいます。

●地域型実習

高等部の作業学習では校内で学習した技能や態度を実際の社会の中でも発揮できるように、近隣にある駅や病院（隣接のフィットネスを含む）、公民館などの地域の施設を学習の場として提供していただき、清掃活動や販売活動を行っています。また、地域の事業所の方と協力して近隣施設の溝掃除なども行っています。

●地域と連携した学習活動

近隣の公民館で開催されている講座への参加や地域の民生委員との交流会の開催、近隣の学校との交流及び共同学習等、多様な学習活動を通して、地域の方々に本校の教育活動について理解を深めてもらうとともに、地域社会との関わりを積極的に図るよう取り組んでいます。

岡山県立岡山瀬戸高等支援学校

めざせ！希望の就労先

～未来を切り開くために～

取組等の概要



食事介助【福祉】



地域で清掃ボランティア【清掃】



キャリア教育フェア【食品】

○取組の目標

就労による社会自立をめざし、基礎的な学力を培い、自立と就労を支える日常生活や家庭生活、社会生活に必要な実践的な力を育てる取組を行います。

○取組の特徴

職業教育に重点を置いた教育課程を編成し、実施及び評価を行い、「個別の移行支援計画」を活用して、就労につながる実践的な取組を行っています。

○取組の概要

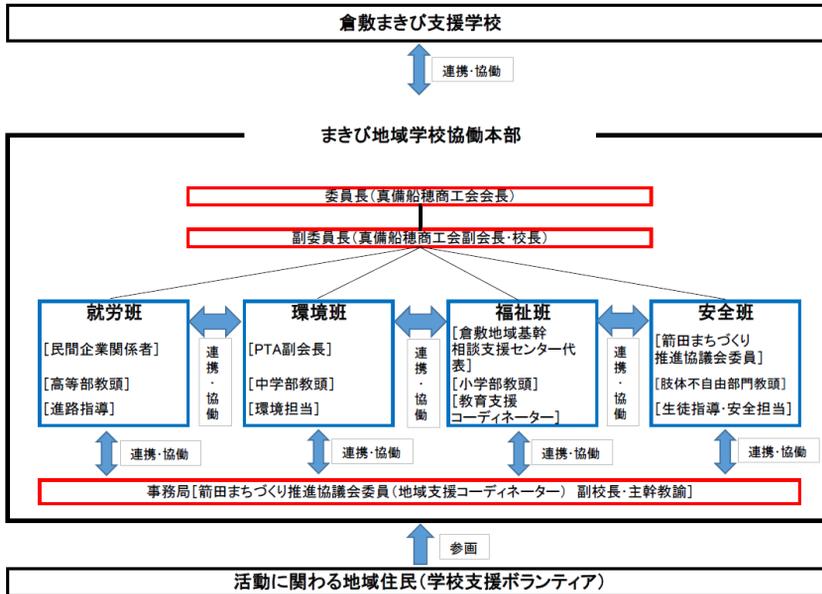
専門教科に4つのコースを設け、就労による社会自立に向けた実践的な知識、技能及び態度を身に付けます。加えて企業等における就業体験など、学習の場を学校外に拡大し、「社会」からの学びを大切にしています。また、地域での学習を通して社会人になる自覚を促します。そしてキャリアガイダンスや実習後の話し合いを通し、本人の意思確認を行ないながら取組ます。

岡山県立倉敷まきび支援学校

地域との連携 ～まきび地域学校協働本部～

取組等の概要

○まきび地域学校協働本部の組織



○取組紹介

- 就労班：事業所参観日
- 環境班：地域貢献活動
(花植、清掃他)
- 福祉班：ふくしの参観日
子育て1UP講座
出張うさぎカフェ
出張相談会
- 安全班：通学路の安全確保
の見守り
- 事務局：運営委員会の開催
連携だよりの発行
ボランティア窓口

○実践の様子



ふくしの参観日(福祉班)



事業所参観日(就労班)



運営委員会(事務局)

○まとめ

地域との連携を重視した取り組みが本校の特長の一つです。「まきび地域学校協働本部」を設置し、環境班、安全班、福祉班、就労班を組織し、各班には地域の関係機関の代表的な方が班員になり、各班の活動を展開しています。この活動をとおして児童生徒の将来の社会生活・職業生活に必要な力を育成すべく、地域の資源や各関係機関を積極的に活用しています。

岡山県立倉敷琴浦高等支援学校

地域と連携して～現場授業～

取組等の概要



産業振興センターでの縫製作業
(家政コース)



高齢者施設での接遇実習
(流通サービスコース)



地域の公会堂や高齢者施設の清掃
(環境サービスコース)

本校は平成22年4月に開校した職業科を置いた高等部のみの特別支援学校（知的障害）です。卒業後は障害者枠での一般就労をし、地域で自立した社会人となることを目指しています。

1年生の2学期から「家政」「流通サービス」「環境サービス」の3つのコースに分かれて専門的な学習を行います。また、校内実習のみならず、現場実習や現場授業といった地域に出て実践的に就労に必要な力を育む授業も行っています。

現場授業は、2年生を中心に数名のグループで教員の付添の下で地域の企業や施設に出向いて行う授業です。

家政コースでは「ミシンの技術を身につけて就労へ」という地元児島の願いもあり倉敷市児島産業振興センターにて動力ミシンを一人1台使わせていただきミシンの技術向上のための実習を行っています。一般の企業の方が商談をするスペースのすぐそばで実習に取り組むことにより、企業や会社、社会人という雰囲気を感じながら作業を行う時間ともなっています。

流通サービスコースでは、地域の高齢者施設において月に1回、利用者さんのための喫茶室を開いています。そこでは、お菓子とともにコーヒーやジュースをお年寄りにふるまう接遇実習をさせていただいています。生徒にとっては学校で学習したことが実際の場面で活用でき、外出の機会が少ないお年寄りにとっては生徒との交流を喜びとして受け入れてくださるというお互いにとって良い活動となっています。

環境サービスコースでは、長年にわたって地域の公会堂や高齢者施設の清掃活動を行っています。清掃場所に適した道具を持って行き、仲間と協力しながら清掃を行います。様々な形状のトイレや洗面台、材質の違う床面など、学校だけではできない清掃体験をすることができ、さらに、感謝の言葉を生の声で聴くことができる貴重な体験をさせていただいています。

このように、本物の商品を扱ったり、お客様を前に作業をさせていただいたりしながら「働くために必要な力」を実践的に身につけています。

岡山県立西備支援学校

地域とともに育てる教育

取組等の概要



夏祭りでのゲーム



中学部：井原駅清掃活動



高等部：おかげ市販売活動

◇取組の目標

- ①地域の人々の理解と連携を図り、社会のつながりの中で児童生徒を育てる。
- ②地域との交流を深め、地域力の活用を推進する。

◇取組の特徴

- ①地域住民や福祉関係事業所等の協力により、学校を盛り上げる。
- ②公共施設や、地元商店街等での活動を通して、住民とのふれあいを広げる。
- ③地域でのボランティア活動を通して、社会貢献の体験を増やす。

◇取組の概要

- ①夏祭り：地域住民やボランティア等の協力により、毎年、夏祭りを実施しています。R1年度は、12団体と大学生9名がボランティアとして参加し、会場づくりやアトラクション・夜店・花火の打ち上げなどを企画しました。夏の夜の思い出が、子どもたちの心に刻まれました。
- ②中学部：毎年井原駅の清掃活動を行い、住民とのつながりを広げ、多くの人に喜んでもらう体験を継続しています。
- ③高等部：地元笠岡地域の商店街が毎月行っている行事「おかげ市」に参加し、地域の歴史を知るとともに、住民とのコミュニケーションを深めています。

岡山県健康の森学園支援学校

日本でここだけ！！ 学校と施設が合体

～農福連携で育む施設と一体化したカリキュラム～

取組等の概要



リンドウの作付け
(農産・園芸班)



牛舎の床替え
(畜産・果樹班)



椎茸の原木運び
(林産・家事生活班)

■ 岡山県健康の森学園は…

寄宿舎を併設した学校と障害者支援施設が一体となり、児童生徒・利用者・職員が4つの訓練班のいずれかに所属し、基本的な生活訓練や就労に必要な適応訓練などに取り組んでいます。

豊かな大自然に親しみながら集団生活を営んだり、学園行事や学校間交流などを通じて地域の人々と交流を深めたりしながら、児童生徒の自立と社会参加を目指しています。

■ 学園アンテナショップ 「森のおみせ」

- 学園生が育てた農作物や、中・高の生徒たちが作業学習で作った製品を自分たちの手で販売する
- 農福連携…JAあしんによる敷地・建物の提供
- 毎週水曜（施設）、金曜（高等部・中学部）に運営



アンテナショップ
森のおみせ



「園章」

スズランを町花とした旧哲多町の地で、学校の児童生徒と施設利用者がともに手を取り未来に伸びゆく姿を表す。

岡山県立東備支援学校

東備「登り窯」で焼く伝統工芸「備前焼」

取組等の概要



○取組の目標

障害のある生徒の「自立と社会参加」をめざし、社会に開かれた教育課程と、作業学習「窯業コース」では、岡山が誇る備前焼の製作を通して、地域社会に貢献する生徒を育成しています。

○取組の特徴

- 1 高等部「窯業班」が行う3年間の作業学習を通した「押し型」「機械ろくろ」「鋳込み」によるものづくりの喜び
- 2 10月末～11月初旬に窯焼成（火入れ）を行い、10日間、窯の火を焚き続けます。
- 3 地域の備前焼作家と連携した岡山が誇る備前焼製作と販売を通した達成感・成就感



ICTで心に自由をGet! ～「〇〇する」を自分の力で～

取組等の概要

本校は、病弱部門と肢体不自由部門を設置する特別支援学校です。



ドロップトークで
コミュニケーション



スイッチでミシン操作



スイッチで楽器演奏

校訓

希望（あかるく）
友愛（なかよく）
自立（いきいきと）

○取組の目標

一人一人の教育的ニーズに合わせた適切な機器（ICT）や教材・教具を活用することで、病気や肢体不自由からくる一人一人の困難を軽減し、可能性を広げ、「主体的で豊かな学び」をめざします。

○取組の特徴

- 1 個々の生徒のニーズに合わせた適切な機器や教材・教具の開発・改良・活用（各種スイッチ、コミュニケーションアプリ、トラックボールマウス、タブレット端末、Web会議システム など）
- 2 関西高等学校との連携



長期の入院や家庭療養が必要な児童生徒の学習保障のため
「Kubi」×Web会議システム準備中



関西高等学校電気科生徒が製作した機器やおもちゃの改良品

岡山県立誕生寺支援学校

地域の中で販売学習

「いらっしゃいませ！」



取組等の概要



《常設》弓削駅 駅舎内でのアンテナショップ（高等部生徒）



《特設》久米南町の文化センターで販売学習（高等部生徒）



《特設》美咲町役場前での販売学習（中学部生徒）

【本校の概要】

本校は、岡山県の中央部に位置する久米南町にあり、県北の広い範囲を学区にした、知的障害部門と肢体不自由部門の2部門がある特別支援学校で、来年度開校50周年を迎えます。学区が広いので、寄宿舍から通学する生徒もいます。



【地域の中での販売学習】

標題の取組は、久米南町と協力し、JR弓削駅の駅舎内に「誕生寺支援学校アンテナショップ 野の花ショップ～夢元（ゆげ）～」を平成25年11月にオープンし、今年の9月には、20,000人目のお客様をお迎えしました。この駅舎内のアンテナショップ以外にも、もっと多くの皆様に本校のことを知ってもらおう、本校生徒の製品を買っていただくため、久米町の文化センターをお借りして出店したり（サテライトショップ久米南）、中学部生徒が美咲町の役場前を利用させていただき、出店したりしています（サテライトショップ美咲）。これらの販売学習の取組により、お客様とのやりとりをする中でコミュニケーションの力を付けたり、「働く」意欲を高めたりと「自立と社会参加」に向けての力を付けていっています。

【販売内容】

- ・ コーヒーやマドレーヌセットの接待
- ・ 高等部・中学部の作業製品の販売（焼き物、木工製品、花苗、農産品、しいたけのほだ木、手工芸品、織物製品 等）



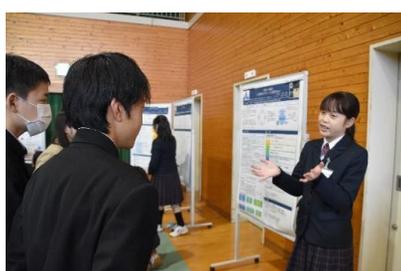
岡山県立岡山操山中学校

未来航路とSOZAN国際塾

取組等の概要



理系コンテスト
科学の甲子園ジュニア
全国大会



未来航路全校発表会
ポスターセッション



SOZANワクワクフリー塾
2019
小学生と一緒に活動

本校は今年度で開校18年目を迎えました。開校当初より、どのように時代が変化してもたくましく生きていける生徒の育成を目指して、総合的な学習の時間を「未来航路プロジェクト」と名付けて課題追究学習を行っています。

未来航路では、課題の設定から始め、調査・追究を行い、まとめと発表、振り返りまでの一連の活動に取り組んでいます。また、1年生は岡山・倉敷での校外学習、2年生は京都、そして3年生は東京での研修を行い、専門家から貴重な助言をいただくなどして追究内容を深めています。3月には1年間の集大成として各学年の代表による全校発表会も行っています。未来航路で取り組んだことが実際の進路につながった卒業生も数多くおり、多方面で活躍しています。

さらに、平成27年からは、世界で活躍できるグローバル人材を育成することを目標にSOZAN国際塾を立ち上げ、課題研究・国際交流、コミュニケーションスキル、社会貢献活動を3本柱として全校生徒の半数を超える生徒が自主的に活動しています。活動内容はオーストラリアでの海外研修、SOZANワクワクフリー塾などのボランティア、ディベートや英語スピーチ、理系コンテストなど多種多様な活動になっています。授業と課外活動の両輪で、自らの夢を見つけ、高いスキルを身につけたグローバル人材として社会に貢献できる人材を育てています。

岡山県立倉敷天城中学校

「サイエンス」「グローバル」 「AMAKI学」から課題研究へ

～本物に触れ、本物に学び、自分の可能性を広げよう～

取組等の概要



インタープリター研修
(2019年5月29日：川崎医
科大学現代医学教育博物館)



横浜サイエンスフロンティア高
等学校附属中学校との課題研究
でのSkypeを用いた交流
(2019年5月17日：本校)



課題研究発表会(2019年3
月2日：本校サイエンス館)

倉敷天城中学校では、確かな学力とともに、課題解決能力、表現力などを身につけさせる学習活動の一環として、2007年の開校以来「課題研究」に取り組んでいます。「課題研究」につなげる取組として「サイエンス」「グローバル」「AMAKI学」という他の中学校にはない独自のプログラムを行っています。その一つの「サイエンス」は学校独自教科として、イギリスのキングスカレッジ校でつくられた「CASE(ケース)プログラム」を使って授業を行い、科学的に考える力を段階的に高めていきます。また、「グローバル」では、つくば言語技術教育研究所がドイツの母国語教育システムを参考に開発した「言葉のワークブック」を使い論理的文章力、論理的プレゼンテーション技術の向上を目指して授業を行います。思考を論理的に組み立て相手が理解できるようにわかりやすく表現する方法を学ぶことで、これからの国際社会に対応できる言語技術能力を伸ばし、国際的な言語センスを身につけます。「AMAKI学」では、「岡山調べ」「職場体験」「学部・学科調べ」を通して、豊かな経験を積みながら調べたことを発表することで自分の「適性」について深く考えていきます。

こうした取組の成果として、ボランティアスピリットアワードではブロック賞、ボランティア・スピリット賞を受賞、倉敷市長杯G7倉敷子どもサミット宣言記念中学校英語スピーチコンテスト2018では優勝などの成果を収めています。

岡山県立津山中学校

高みを目指して！

～困難に立ち向かい、やり抜く力を育む「登山」～

取組等の概要



森林公園（1年生）



那岐山（2年生）



大山（3年生）

津山中学校は、「知・徳・体」のバランスの取れた人材育成を目指し、探究的な学習活動や異年齢交流活動などとともに、津山高校と合同で行うウォーキング大会や、中学独自の「登山」などにも取り組んでいます。

○津中「登山」の V G R

Vision ～津中「登山」が目指すもの～

- 自然の奥深さや、厳しさに触れるとともに、そこでしか見ることのできない景色を楽しもう。
- 登頂の大きな達成感を仲間とともに味わおう。

Grit ～やり抜く力を伸ばす～

- 途中の過程を楽しみ、苦勞を楽しもう。

Research Mind ～登山を科学する～

- 危険を予知し、危険を回避する方法を考えよう。
- 天候の変化に合わせた対策や、水分などの必要量を考えよう。

津山中学校では、これからも野外研修やウォーキング大会、そして「登山」などの機会を捉えて、困難に立ち向かいやり抜く力の育成を図ります。